

Panasonic®



取扱説明書

カメラ付きリアモニター

✳ Strada

品番 CA-RMC900D



ご使用前に、「安全上のご注意」(P. 4~7)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本説明書、および接続するナビゲーションの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

適合機種 (2014年11月現在)

CN-RX01D CN-RX01WD
CN-RS01D CN-RS01WD

HDMI

保証書別添付

安全上のご注意

はじめに

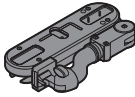
使いかた

取付と配線

必要なとき

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

番号	品名	数量
①	 モニター本体	1
②	 ケーブルカバー	1
③	 電源/AVケーブル	1
④	 モニター取付金具	1
⑤	六角レンチ ●モニター取付金具の表側に収納されています。	1
⑥	アームカバー ●モニター取付金具に装着されています。	1
⑦	シャフトガイド ●モニター取付金具に装着されています。	2
⑧	スペーサー ●モニター取付金具の裏側から取り出してください。	2

主な添付品

取扱説明書(本書)	1
保証書	1

●包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

もくじ

内容物の確認	2
安全上のご注意	4
使用上のお願い	8
各部のなまえとはたらき	9
モニターを使う	10
電源を入/切する	10
入力を切り換える	10
映像を調整する	11
映像の画面表示サイズを切り換える	12
設定をお買い上げ時の状態に戻す	12
ヘッドホンの音量を調整する	13
カメラを使う	14
カメラの設定をする	14
カメラの映像を見る	15
取り付け・配線の前に	16
取り付け時の留意点	17
配線のしかた	18
モニター取付金具を取り付ける	20
モニターを取り付ける	24
故障かな!?	28
仕様	29
商標について	29
保証とアフターサービス	30

安全上のご注意

はじめに

使いかた

取付と配線


必要なとき


安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告

 **本機はDC12 V \ominus アース車専用です**
DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの \ominus 端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。


コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付けや配線をするとき

警告


 **視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない**
交通事故やけがの原因となります。
*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでモニターや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

スパーサーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
● 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
● 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
● ドライバーなどの先で押し込まないようにください。

 **分解や改造をしない**
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
分解禁止

注意

 **必ず、付属品や指定の部品を使用する**
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

モニター取付金具、およびモニター本体は、しっかり確実に取り付ける
走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。
定期的に取り付け状態(ねじのゆるみなど)を点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

ご使用になるとき

 **警告**



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

後部座席に乗車する際は、必ずシートベルトを着用する
シートベルトをしていないと、急ブレーキやカーブのときに本機に身体をぶつけるなど、けがの原因となります。

オフロードなど悪路を走行するときは、モニター本体を取り外す
走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。



運転者は走行中に本機のカメラ映像を注視しない
交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

ヘッドホン使用時は音量を上げ過ぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が損なわれる原因となります。



雷が鳴りだしたら、本機に触らない
落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

ご使用になるとき

 **注意**



モニター取付金具は、必ずアームを完全に開いた状態で使用する
急ブレーキやカーブのときに本機に身体をぶつけるなど、けがの原因となります。

ヘッドホン接続前に音量を下げる
音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因となることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。



本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。

モニター取付金具に手をかけたり、物をぶら下げない
モニター以外の荷重をかけると、脱落や破損などで、けがの原因となります。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

- お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

本製品は、後部座席専用です。
助手席側(左座席)のヘッドレストに
取り付けてご使用ください。

- 左座席が運転席の場合は、運転席側に取り付けてください。
- 運転席から視聴できる場所には、取り付けないでください。
- モニターを取付金具から取り外して使用しないでください。

年少者用補助乗車装置を装着する場合は (乳児用ベット、チャイルドシートなど)

- 本機を取り付けたシートは、スライドやリクライニングする際に、接触しないようご注意ください。

エンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて、長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。

他の機器と接続する場合は

- 接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- 誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合、補償はできません。

液晶ディスプレイについて

- 指(爪の先)でたたいたり、強く押さないでください。故障や破損の原因となります。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整する場合があります。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99%の精度で管理されていますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

カメラについて

- レンズを触らないでください。レンズが汚れると映像が不鮮明になります。
- 本機のカメラ映像は、広角・鏡像で表示されます。ルームミラーと同様に、左右が逆になり、近いところは広く、遠いところ(両端)は狭く映るため、正しい形・大きさ・距離感とは異なります。

お手入れについて

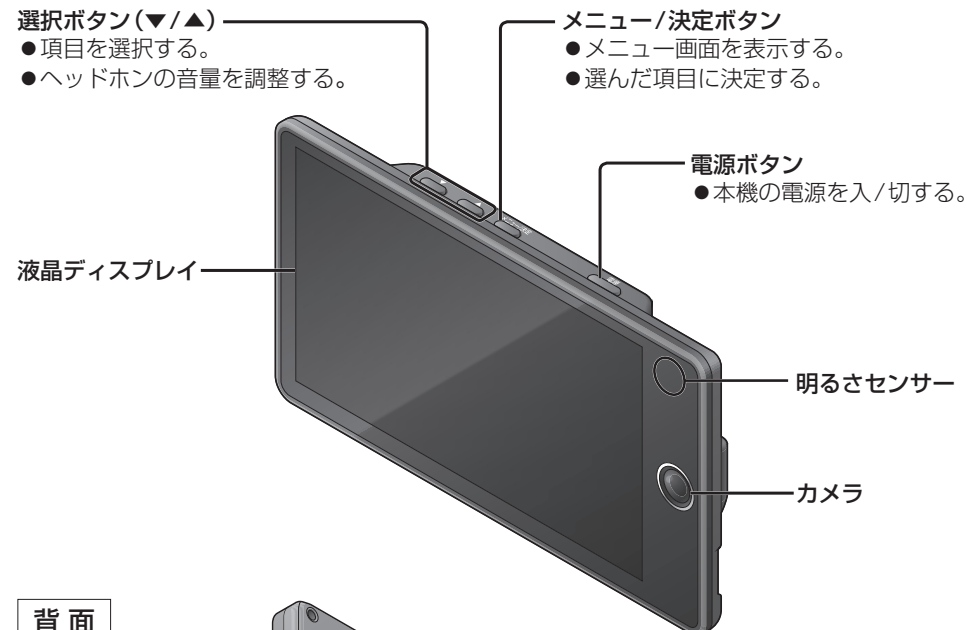
- 必ず車のエンジンを切った状態(ACC OFF)で行ってください。
- 乾いた柔らかい布で拭いてください。液晶ディスプレイ・カメラのレンズは、市販のクリーニングクロスなどを使って指の腹で軽く拭いてください。強くこすると傷の原因となります。

お願い

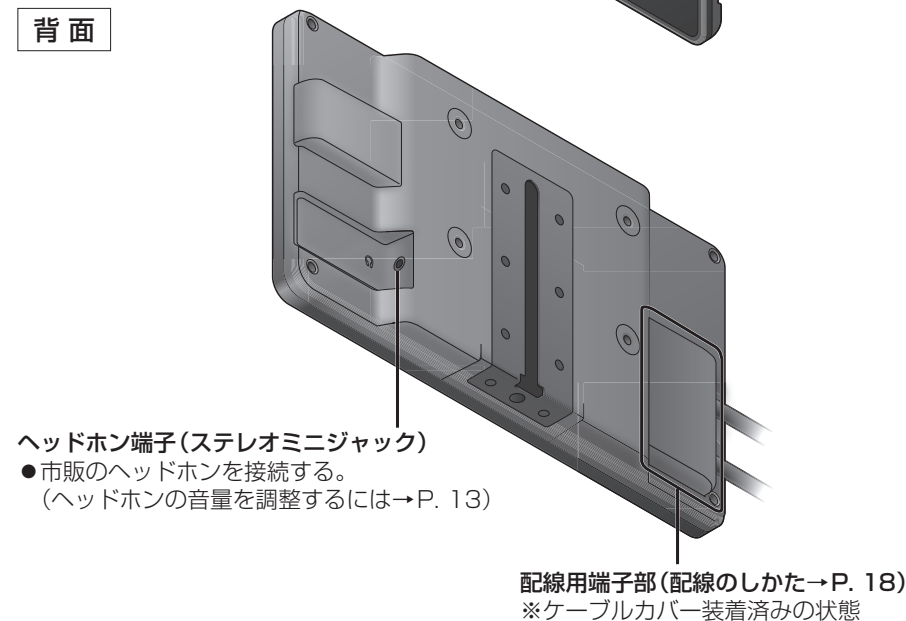
- ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは、使用しないでください。(塗装が変質するおそれがあります)
- 化学ぞうきんは、注意書きに従ってお使いください。

各部のなまえとはたらき

正面



背面



お知らせ

- 本機にはスピーカーは内蔵していません。

モニターを使う

電源を入/切する

1 車のエンジンをかける (ACC ON)

2 電源を押す

- モニターの電源が入ります。
- 押すごとに、モニターの電源の入/切が切り換わります。
- 初めて車のエンジンをかけたときは、電源「切」の状態になっています。

オープニング画面



接続した機器 (ナビゲーションなど) から出力された映像が表示されます。



お知らせ

- 車のエンジンを切ると (ACC OFF)、モニターの電源も切れます。
- 電源を押してモニターの電源を「切」にしても、車のエンジンがかかっている (ACC ON) 間は、カメラの電源は切れません。

入力を切り換える

1 電源を押す

2 電源で「入力切替」を選び、電源を押す



3 電源で「HDMI / ビデオ」を選び、電源を押す



- 選んだ入力モードに切り換わります。

お知らせ

CN-RX01D/WDと接続して使用する場合

- VTRまたはiPodビデオの映像は、「HDMI」で視聴することはできません。これらのオーディオを視聴する場合は、「ビデオ」に切り換えてください。
- Blu-ray Discの映像は、「ビデオ」では視聴できません。「HDMI」に切り換えて視聴してください。

映像を調整する

明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合い、シャープネスを設定できます。

1 電源を押す

2 電源で「映像調整」を選び、電源を押す

3 各項目を設定する

1. 電源で項目を選ぶ
2. 電源で選んだ項目に決定する

[太字はお買い上げ時の設定]

機能	設定	
昼モード/夜モードの明るさと表示のしかたを設定する	明るさ設定 を選ぶ	昼夜自動検出 を選ぶ 昼モード設定 を選ぶ 夜モード設定 を選ぶ
昼モードの画面の明るさを調整する		● 自動検出モード: 明るさセンサーが検出した明るさに応じて、自動的に昼モード/夜モードを切り換える ● 昼モード: 常に昼モードで表示する ● 夜モード: 常に夜モードで表示する
夜モードの画面の明るさを調整する		● 明るさを調整する ● 調整範囲: -8 ~ +7 ~ +8 ● +: 明るくなる ● -: 暗くなる
コントラストを調整する	コントラスト を選ぶ	● 明るさを調整する ● 調整範囲: -8 ~ -7 ~ +8 ● +: 明るくなる ● -: 暗くなる
色の濃さを調整する	色の濃さ を選ぶ	● コントラストを調整する ● 調整範囲: -8 ~ 0 ~ +8 ● +: 明暗の差が大きくなる ● -: 明暗の差が小さくなる
色合いを調整する	色合い を選ぶ	● 色の濃さを調整する ● 調整範囲: -8 ~ 0 ~ +8 ● +: 濃くなる ● -: 薄くなる
映像のシャープさを調整する	シャープネス を選ぶ	● 色合いを調整する ● 調整範囲: -8 ~ 0 ~ +8 ● +: 緑みが強くなる ● -: 赤みが強くなる
		● シャープネスを調整する ● 調整範囲: -8 ~ 0 ~ +8 ● +: シャープさが強くなる ● -: シャープさが弱くなる

お知らせ

- 映像調整は、HDMIとビデオで個別に設定できます。

使いかた

モニターを使う

モニターを使う

映像の画面表示サイズを切り換える

1 を押す

2 で画面モードを選び、
を押す



3 でフル/ワイド/ノーマルを選び、
を押す



●選んだ入力モードに切り換わります。
[お買い上げ時の設定:フル]

フル 映像が画面全体で表示されるように調整された画面

- 16:9の映像は、横方向に少し圧縮されます。
- 4:3の映像は、横方向に引き伸ばされます。

ワイド 16:9の映像が歪みなく表示されるように調整された画面

- 16:9の映像は、左右が少しカットされます。
- 4:3の映像は、横方向に引き伸ばされ、左右が少しカットされます。

ノーマル 4:3(横:縦)の画面(左右が黒くなる)

- 16:9の映像は、横方向に圧縮されます。

設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 を押す

2 でシステム設定を選び、
を押す



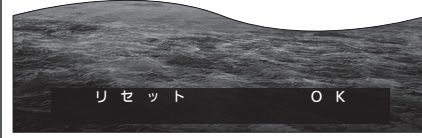
3 でリセットを選び、
を押す



4 を押す



- リセットを開始します。
- 数秒間画面が消えて、下記のように表示されたらリセット完了です。



ヘッドホンの音量を調整する

を押して調整する



- 調整範囲:0~40
[お買い上げ時の設定:20]

お知らせ

- 音量調整は、HDMIとビデオで個別に設定できます。

CN-RX01D/WDと接続して使用する場合

- 本機が「HDMI」のとき、音声が出力されます。
- 本機が「ビデオ」のときは、音声は出力されません。音声は、車のスピーカーからお楽しみください。

CN-RS01D/WDと接続して使用する場合

- 本機のヘッドホン端子から出力される音声はありません。音声は、車のスピーカーからお楽しみください。

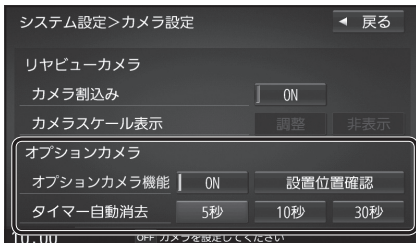
カメラを使う

カメラの設定をする

ご利用前に、ナビゲーション側でカメラの設定をしてください。
詳しくは、ナビゲーションの説明書をご覧ください。(例: CN-RX01D/WD)

ナビゲーションでの操作

- 1 ツートップメニューから、**情報・設定** を選ぶ
- 2 **システム設定** を選ぶ
- 3 **その他設定** を選ぶ
- 4 **カメラ設定** を選ぶ
- 5 カメラ設定画面から、**オプションカメラ機能**の設定をする



- **オプションカメラ機能**
ONにすると、ナビゲーションに本機のカメラ映像を表示させることができます。
- **タイマー自動消去**
カメラの映像に切り換えてから、もとの画面に戻るまでの時間(ナビゲーションに映像が表示される時間)を設定します。
設定範囲: **5秒** **10秒** **30秒**
[お買い上げ時の設定: 5秒]
- **設置位置確認**
本機のカメラ映像がナビゲーションに表示されます。カメラで写す位置の微調整や、画質の調整を行ってください。(右記)

カメラの位置を調整するには

- 1 カメラ設定画面(左記)から、**設定位置確認** を選ぶ
 - 本機のカメラ映像がナビゲーションに表示されます。



- 2 カメラの映像が見やすい位置になるように微調整する(P. 26 手順 9)

カメラの画質を調整するには

- 1 カメラ設定画面(左記)から、**設定位置確認** を選ぶ
 - 本機のカメラ映像がナビゲーションに表示されます。

- 2 **現在地** を2秒以上押す
 - 画質調整画面が表示されます。



- 画質調整についての詳細は、ナビゲーションの説明書をご覧ください。

カメラの映像を見る

本機のカメラ映像を、ナビゲーションに表示させることができます。
詳しくは、ナビゲーションの説明書をご覧ください。(例: CN-RX01D/WD)

準備

- カメラの設定をしてください。(P. 14)

ナビゲーションでの操作

- 1 現在地画面から、**LAUNCHER** を選ぶ



- 2 ランチャーメニューから、**オプションカメラ** を選ぶ



本機のカメラ映像が、ナビゲーションに表示されます。



- タイマー自動消去(P. 14)で設定された時間カメラの映像を表示して、現在地画面に戻ります。

終了するには

映像表示中に、**現在地**を押す
または画面にタッチする

使いかた

カメラを使う

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

お願い

- コネクターは確実に差し込んでください。
- 各コードに接続するコネクターが合わない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、市販のコードクランパーやテープなどで要所を固定してください。
- コードは、各種アンテナのコードからできるだけ離して配線してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。(→P. 31)
- 使用しないコードやコネクターは、先端をビニールテープなどで絶縁してください。
- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップを外さないでください。

作業の順序

- 1 バッテリーの⊖端子を外す
- 2 各種コード/ケーブルを配線する (P. 18)
 - ショート事故防止のため、電源/AVケーブル接続端子への接続は、必ず他の配線をすませてから最後に行ってください。
- 3 モニター取付金具を取り付ける (P. 20)
- 4 モニター本体を取り付ける (P. 24)
- 5 バッテリーの⊖端子をもとに戻す
 - バッテリー端子取り付け用ナットは、工具を使用してしっかりと締め付けて固定してください。
- 6 カメラの設定をする (P. 14)

※作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

取り付け時の留意点

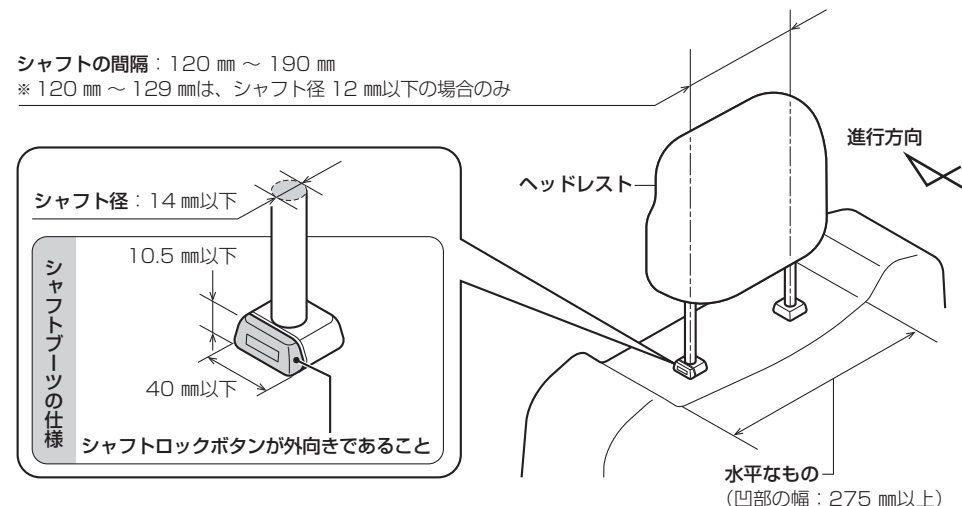
- 本製品は、助手席側(左座席)ヘッドレスト専用です。指定以外の場所に取り付けけないでください。(左座席が運転席の場合は、運転席側に取り付けてください)
- モニター取付金具は、本機専用です。本機以外には使用しないでください。
- シートの可動範囲を考慮して取り付けてください。(取り付けのシートのスライドやリクライニング、セカンドシートの回転機能など)
- ルームミラーなど、後方視界の妨げにならないよう取り付けてください。
- シートの固さ・形状によっては、モニター本体が振動する場合があります。
- 車の振動でねじがゆるんだ場合は、ねじを締め直してください。
- モニター本体の位置や角度などを調整をするときは、必ずねじをゆるめてから行ってください。
- 必ず、定期的に取り付けを確認してください。

取り付け可能なシート

ヘッドレストのシャフトが2本タイプで、取り外しできるものに取り付けることができます。

下図の寸法のシートに取り付けられます

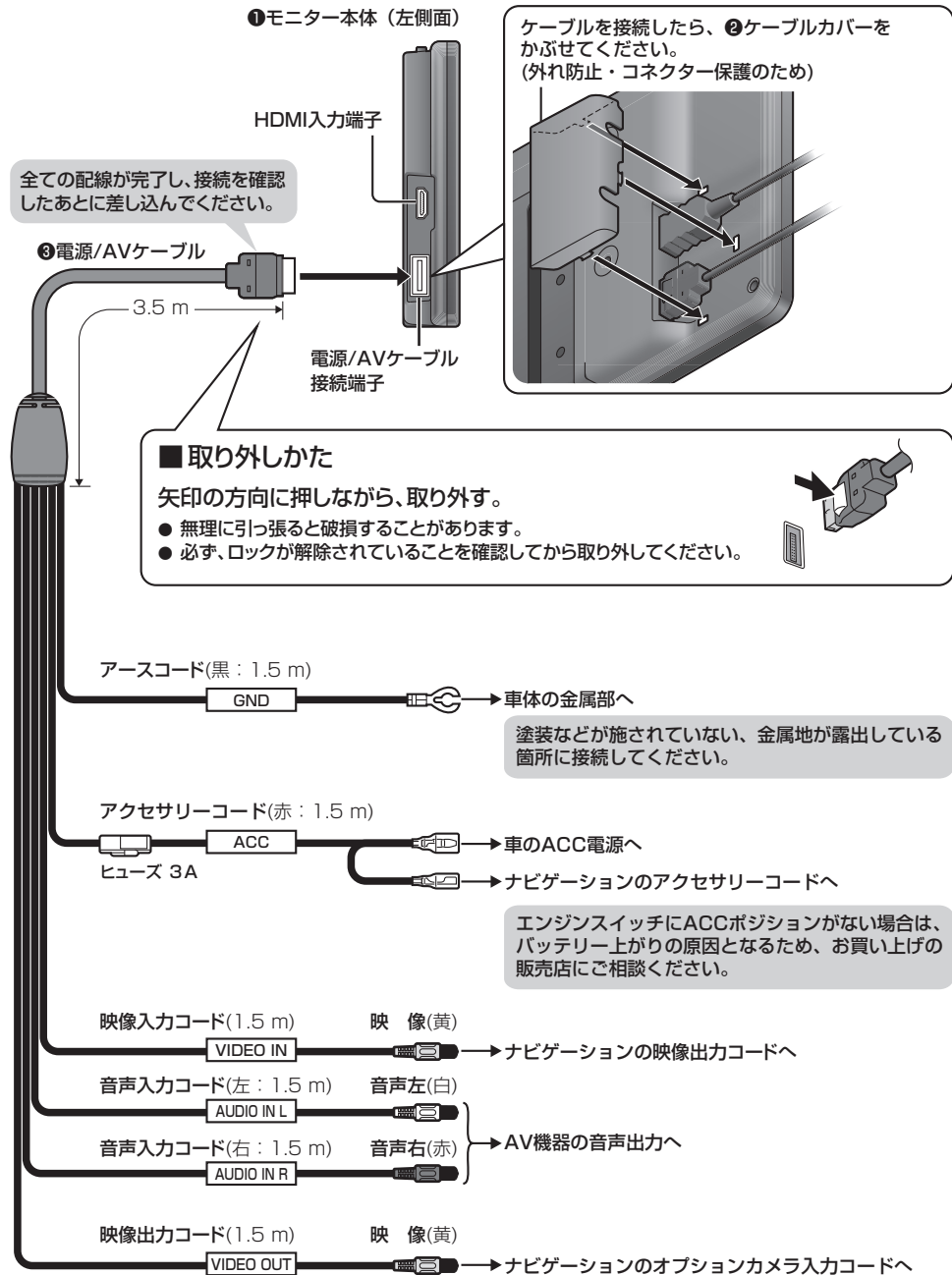
寸法は目安であり、取り付けの可否にはシャフトブーツの形状などが影響する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



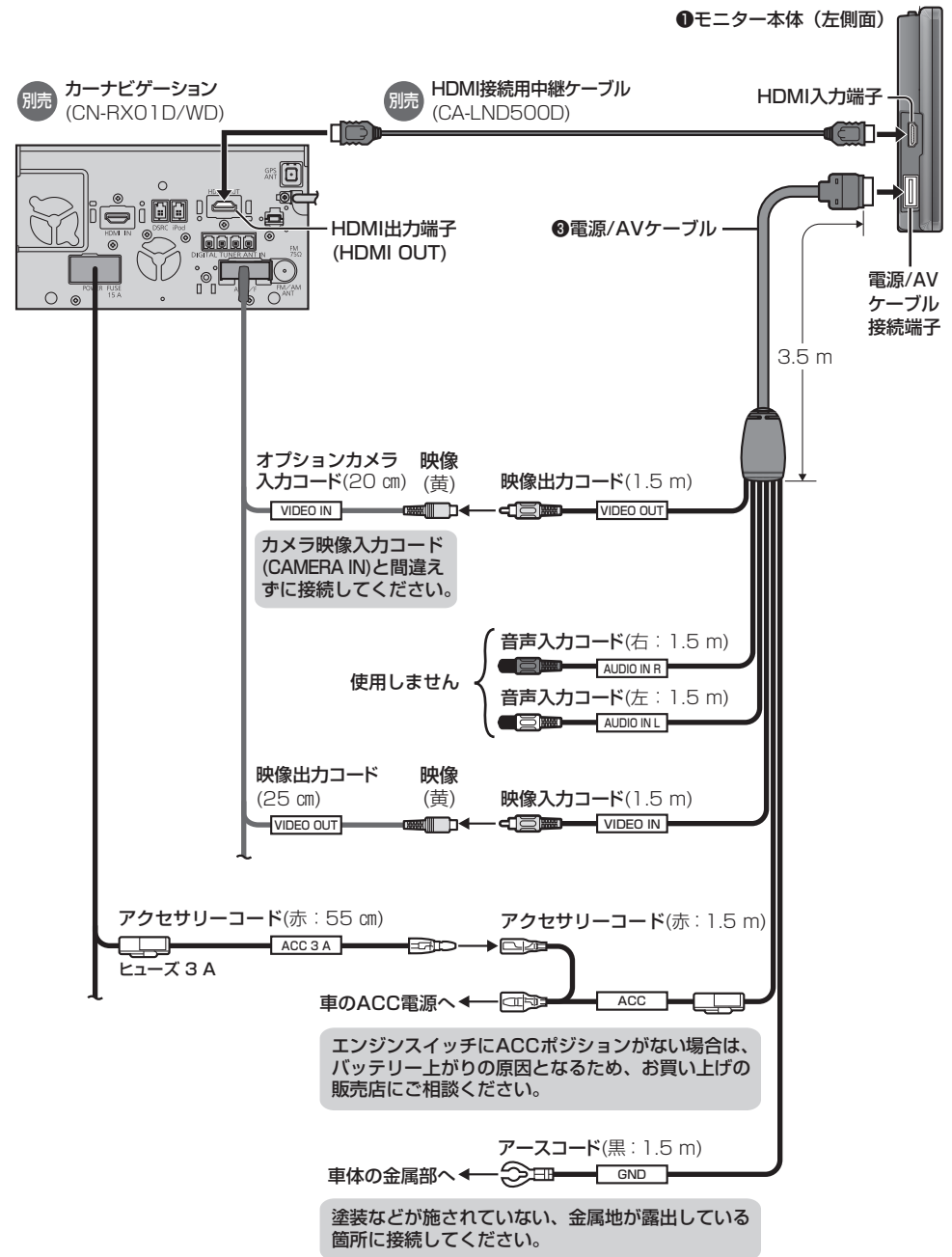
以下のようなシートには、取り付けられません

- ヘッドレストがシートと一体になっていて取り外せないもの
- ヘッドレストのシャフトが1本のもの
- バケットシートなど、背もたれの肩の部分に凹部があるもの(凹部の幅: 275 mm未満)
- アクティブヘッドレスト(衝突時の衝撃を軽減させるため、ヘッドレストが移動するタイプ)
- リフトアップシート
- シャフトやシャフトブーツの形状が特殊なもの(シャフトブーツの中心にシャフト穴がないなど)
- シャフトブーツが無い、またはシャフトロックボタンが内側を向いているもの
- 上図の要件を満たさないもの

配線のしかた



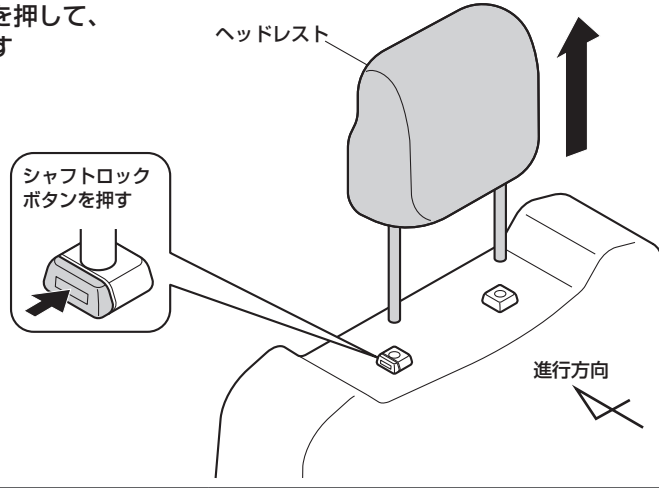
接続例



取付と配線
配線のしかた

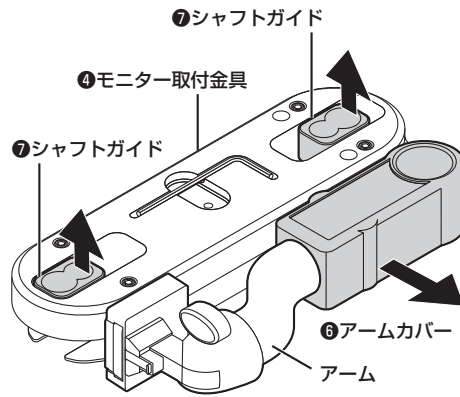
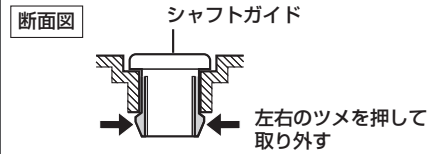
モニター取付金具を取り付ける

1 シャフトロックボタンを押して、ヘッドレストを取り外す

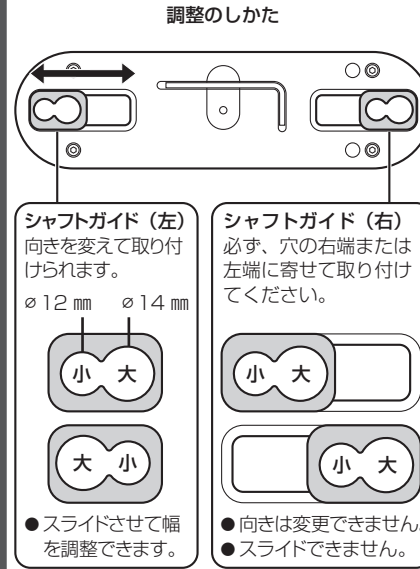


2 モニター取付金具から、アームカバーとシャフトガイドを取り外す

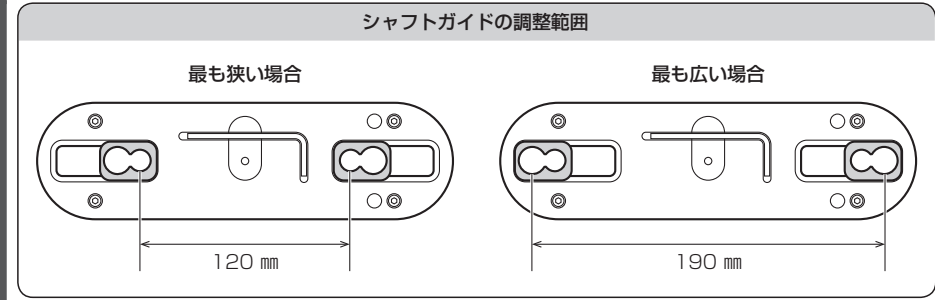
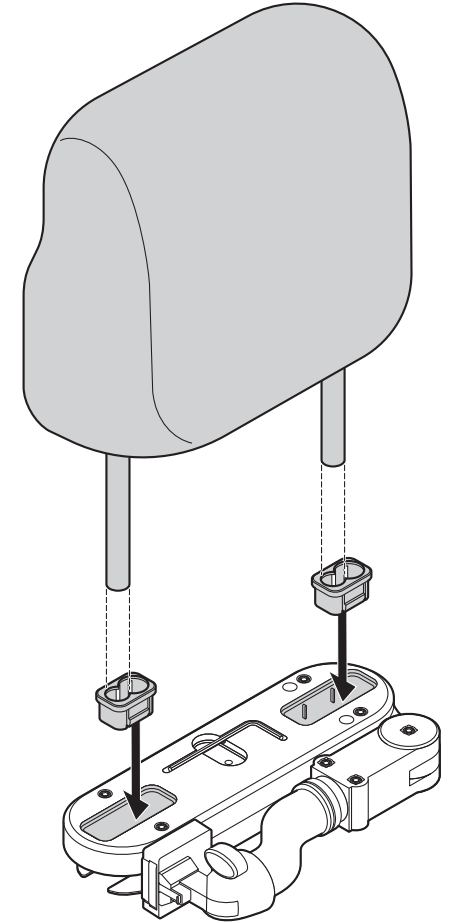
- 取り外すときに、無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- アームカバーは、アームを開く前に取り外してください。(アームカバー破損の原因となります)



3 シャフトガイドを、ヘッドレストのシャフトの径と間隔に合わせて取り付ける



※ツメがロックされるよう、確実に取り付けてください。



モニター取付金具を取り付ける

4 シャフトブーツに モニター取付金具を取り付ける

ガタつきがある場合は、スペーサーを併用してください。

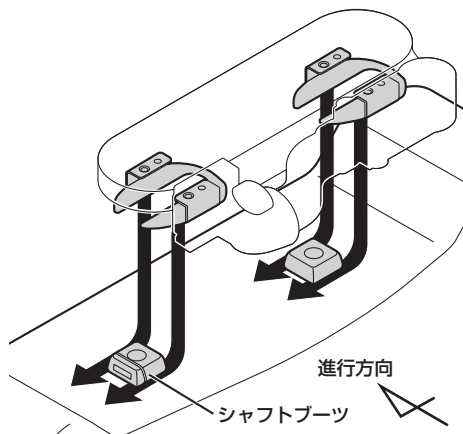
コの字型ブラケット
(モニター取付金具裏面)

⑧ スペーサー

裏紙をはがす

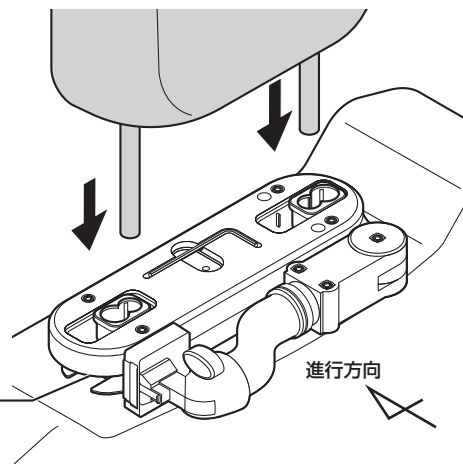
コの字型ブラケットをシャフトブーツの下側に確実に差し込み、スライドさせる。

● スライドさせられない場合は→P. 23



5 ヘッドレストを取り付ける

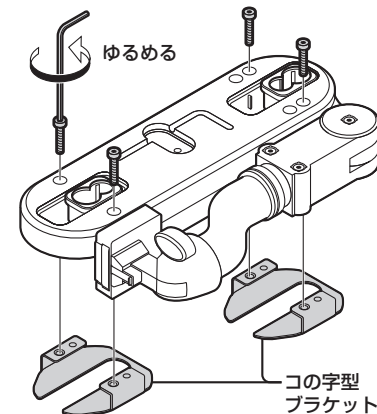
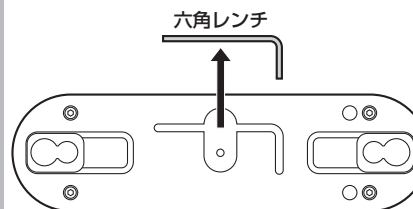
シャフトロック
ボタンを押す



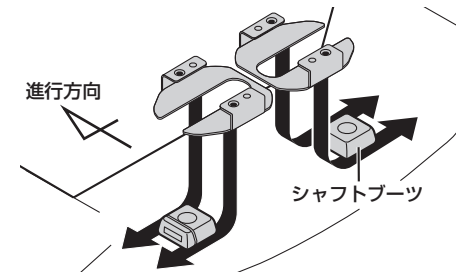
取付金具をスライドさせられないシートの場合

モニター取付金具からコの字型ブラケットを取り外して、取り付けてください。

1 六角レンチでねじ(4カ所)を外して、 コの字型ブラケットを モニター取付金具から取り外す



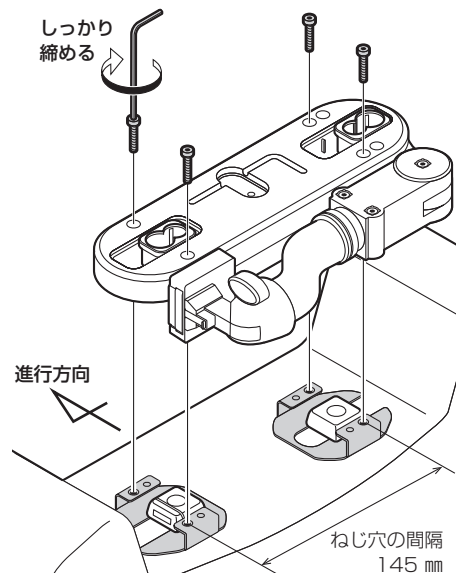
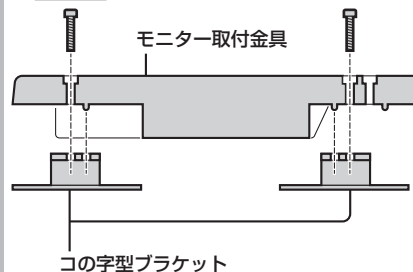
2 シャフトブーツに コの字型ブラケットを取り付ける



3 コの字型ブラケットに モニター取付金具を取り付ける

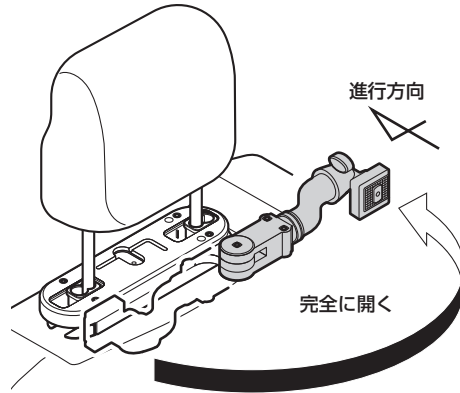
● モニター取付金具の突起を、コの字型ブラケットに合わせて固定してください。

断面図

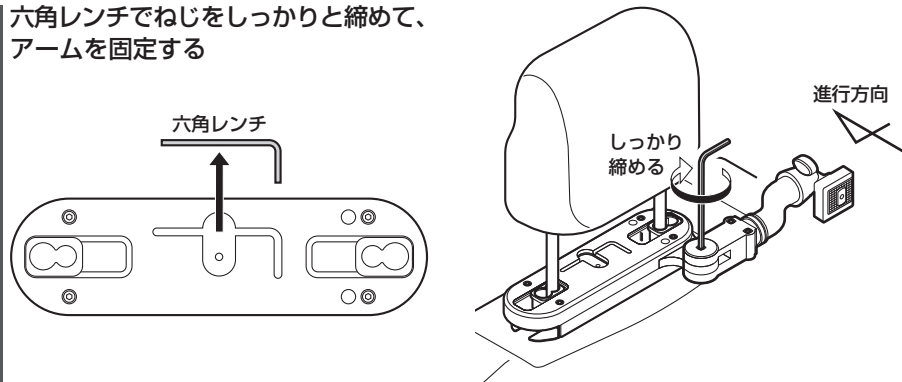


モニターを取り付ける

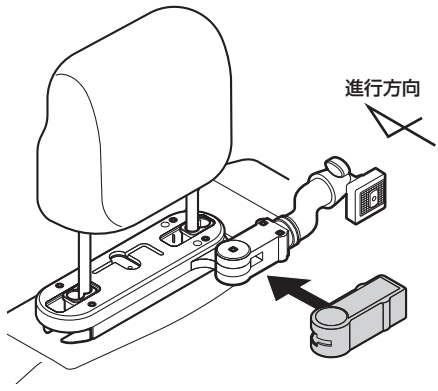
1 アームを開く



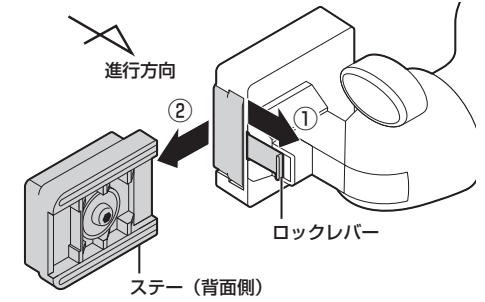
2 六角レンチでねじをしっかりと締めて、アームを固定する



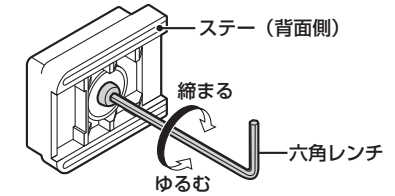
3 アームカバーを取り付ける



4 ロックレバーを引きながら、ステーをスライドさせて取り外す

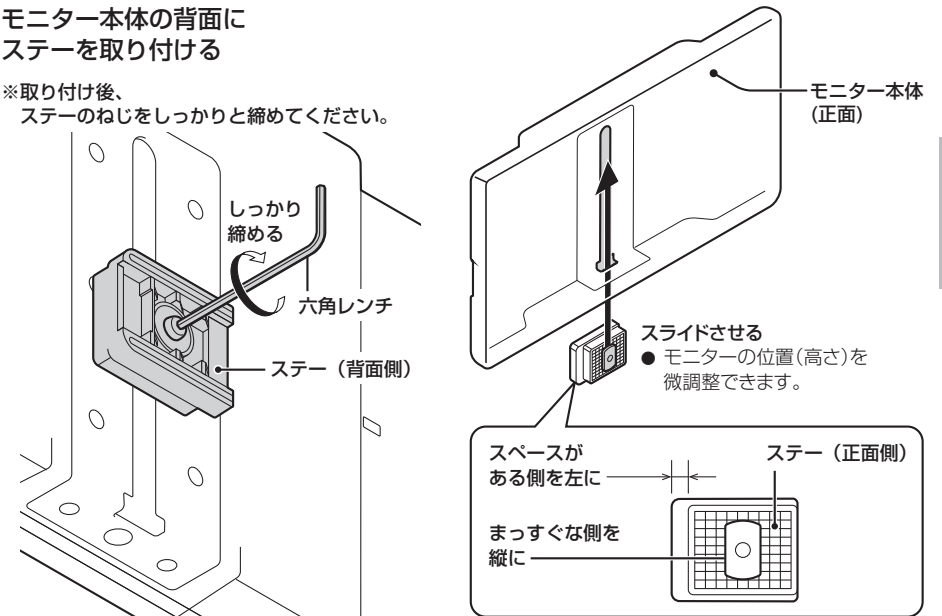


5 六角レンチでステーのねじをゆるめる



6 モニター本体の背面にステーを取り付ける

※取り付け後、ステーのねじをしっかりと締めてください。



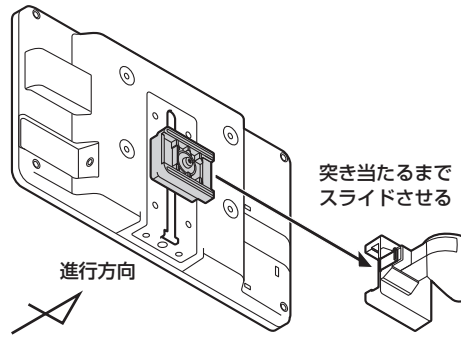
取付と配線

モニターを取り付ける

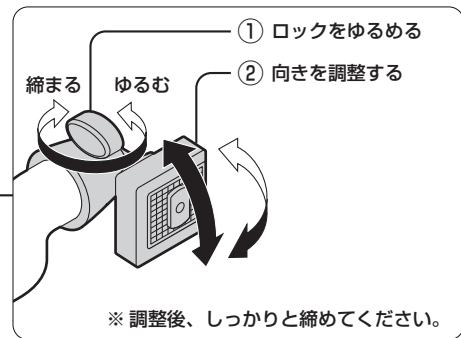
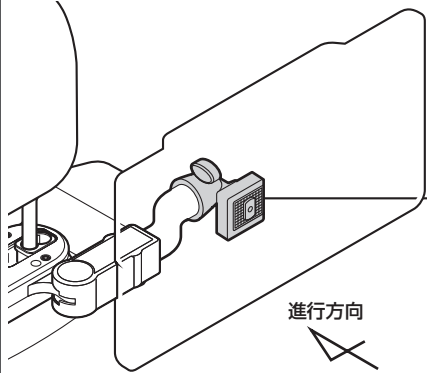
モニターを取り付ける

7 ステータを取り付けたモニター本体を、モニター取付金具に取り付ける

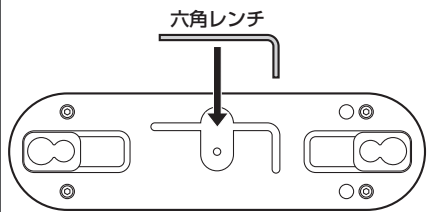
※ロックされるよう、確実に取り付けてください。



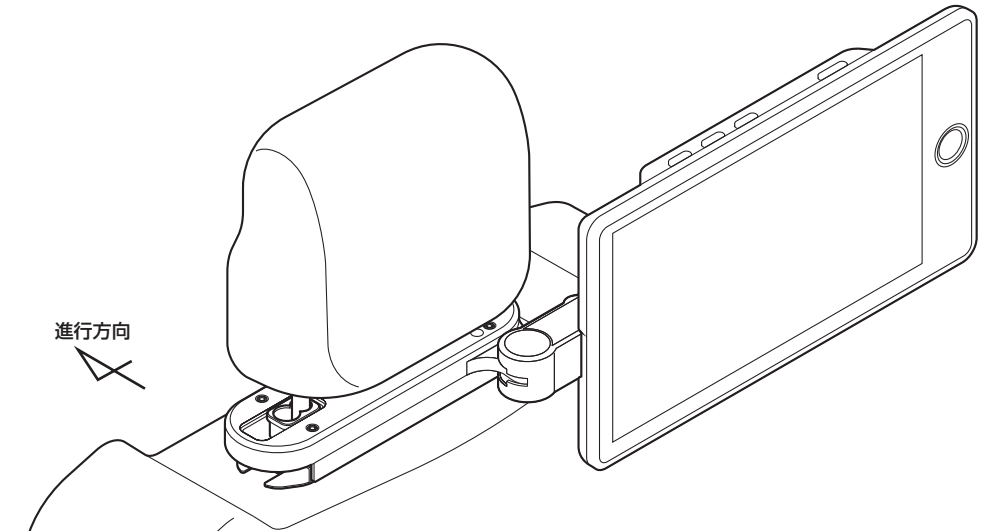
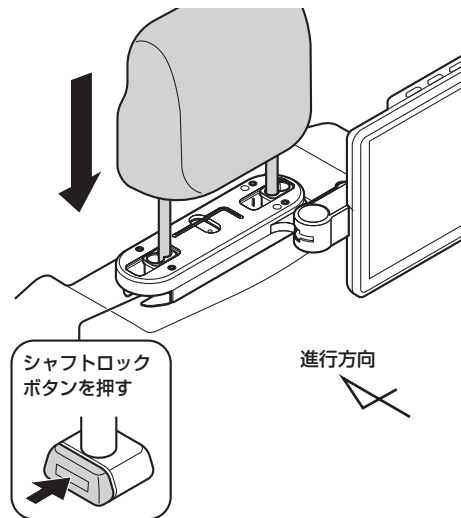
8 モニターの角度(上下・左右の向き)を微調整する



9 六角レンチをもとの場所に収納し、ヘッドレストの高さを調整する



● 紛失しないように、保管してください。



故障かな!?

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

内容	ページ
電源が入らない、画面に何も表示されない	
車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACC を ON にして) ください。	10
本機の電源が「切」になっている。 ● 本機の電源を「入」にしてください。	10
CN-RX01D/WD の Blu-ray Disc の映像を「ビデオ」で視聴しようとした。 ● Blu-ray Disc の映像は、「ビデオ」では視聴できません。 「HDMI」に切り換えて視聴してください。	10
CN-RX01D/WD の iPod ビデオ、VTR の映像を「HDMI」で視聴しようとした。 ● iPod ビデオ、VTR の映像は、「HDMI」では視聴できません。 「ビデオ」に切り換えて視聴してください。	10
本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	—
映像が暗い/白っぽい/色合いが悪い/色が薄い/横帯が出る	
画質調整が適切でない。 ● 各項目を調整してください。	11
画面に赤、青または緑の点が表示される	
液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	—
カメラの映像が映らない	
● 各コードの接続をご確認ください。	18
● 接続している機器の設定を確認してください。	14
本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	—
カメラの映像が不鮮明	
レンズが汚れている。 ● レンズの汚れを拭いてください。	8
カメラの映像が白っぽい、または白線 (光の縦線) が出る	
太陽光や、バンパーからの反射・ヘッドライトなどの強い光が当たっている。 ● 映像が見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。	—
カメラの映像が暗い/白っぽい/色合いが悪い/色が薄い/横帯が出る	
画質調整が適切でない。 ● 各項目を調整してください	14
夜間、およびトンネルや地下駐車場などの暗いところや、蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明の下を走行した。 ● 映像の色合いや明るさが変わったり、横帯が出る場合がありますが、故障ではありません。	—

■ 万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。

- 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

仕様

電源	
電源電圧	DC12 V (試験電圧 13.2 V) マイナスアース
消費電流	1 A 以下
液晶ディスプレイ	
画面寸法 (幅×高さ×対角)	9V型ワイド 197 mm×114 mm×228 mm
映像入力	RGB
画素数	1 843 200 画素 (縦600×横1 024×3)
有効画素数	99.99 %
表示方式	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式
使用光源	内部光 (LED)
内蔵カメラ	
撮影素子	1/3.7型CMOS
解像度	VGA (640×480)
フレームレート	60 fps/27 MHz
画角	対角150° [水平:123° 垂直:98°]
最低照度	1 lx/40 IRE
接続端子	
ビデオ入力レベル	映像: NTSC方式 1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック) 音声: ステレオ 2.0 Vrms MAX (RCAピンジャック)
カメラ出力レベル	1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック
HDMI入力	・HDMI端子: 1系統 (19ピン typeA端子) ・映像信号: 720p, 1080i, 480p, 480i (16:9, 4:3) Field Rate: 59.94 Hz, 60 Hz ・音声信号: リニアPCM (最大2 ch, サンプリング周波数32 kHz/44.1 kHz/48 kHz)
モニター本体	
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	244.2 mm×137.2 mm×27 mm
質量	約0.65 kg
動作温度	-10 °C ~ +60 °C

- 液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストや写真はイメージであり、画面はハメコミ合成です。実際とは異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- 本製品に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パソコン・スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

■ 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://panasonic.co.jp/pas/customer/ad_service.html

パナソニック お客様ご相談センター

電話



0120-50-8729

※ 携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■ 上記番号がご利用いただけない場合

045-929-0511

※ 通話料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～18:30 (365日)

FAX

045-938-1573

※ 通話料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～18:30

(土・日・祝日・当社休日を除く)

- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	<p>万一の故障や盗難時に必要です。保証書、もしくはモニター本体の背面にある製品銘板で、9桁の番号をご確認ください。</p> <p>()</p>
----------------------	---

パナソニック株式会社

オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Corporation 2014

Printed in China

YEFM0600527A F1014-1114